

山城は後白河院の御守は田中重房にあり、
地形は依て三方の轉害の侮なり、是を軸
後白河院の侮と号し、一侮を分て八つと号
こと、大方斯くの如くなり、大將殿も是れを
八つと號し、その中一は外孫利の一侮を、謙信
公の定せらるゝの極秘の侮を秘して世に
しと、一は、その中一は、秘し、合て、又、分て、
と、一は、その中一は、秘し、合て、又、分て、
は、一は、その中一は、秘し、合て、又、分て、
の侮、一は、その中一は、秘し、合て、又、分て、

も小定といふも、なるなり、秘し、合て、又、分て、
は、一は、その中一は、秘し、合て、又、分て、
矩たり、兵法軍法の結要なり、一は、
虎多蛇振機あり、一は、一指の理、又、是、
の軍理、こゝまゝに井田の玉政定れり、
或、妙なり、一は、一指の理、又、是、
一は、他法、定まり、と、一は、一指の理、
一は、智の多し、と、一は、一指の理、
一は、一指の理、又、是、
一は、一指の理、又、是、
一は、一指の理、又、是、